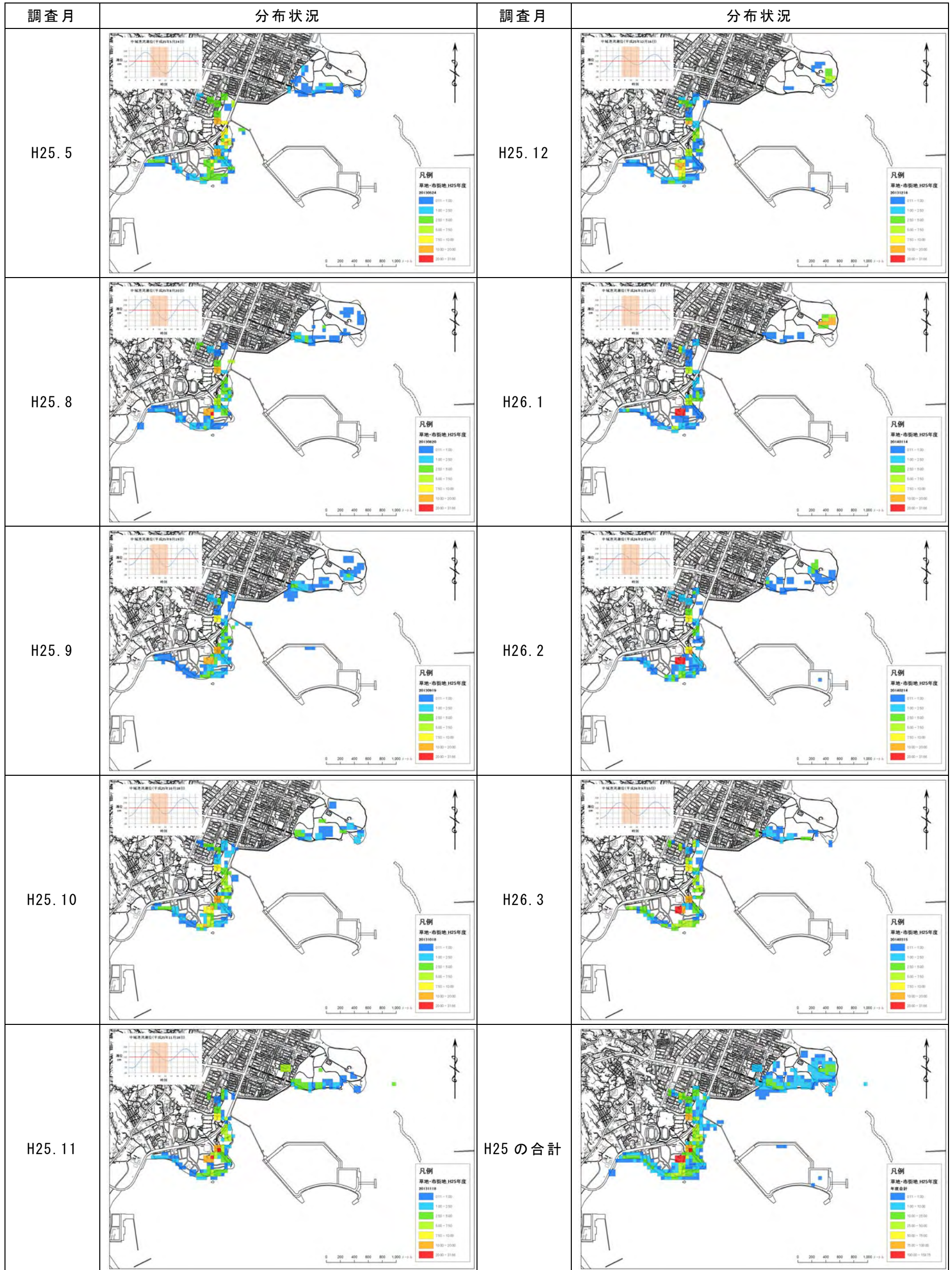


平成 25 年度調査における「草地等の鳥類」の分布状況

※凡例の数値は個体数を示す

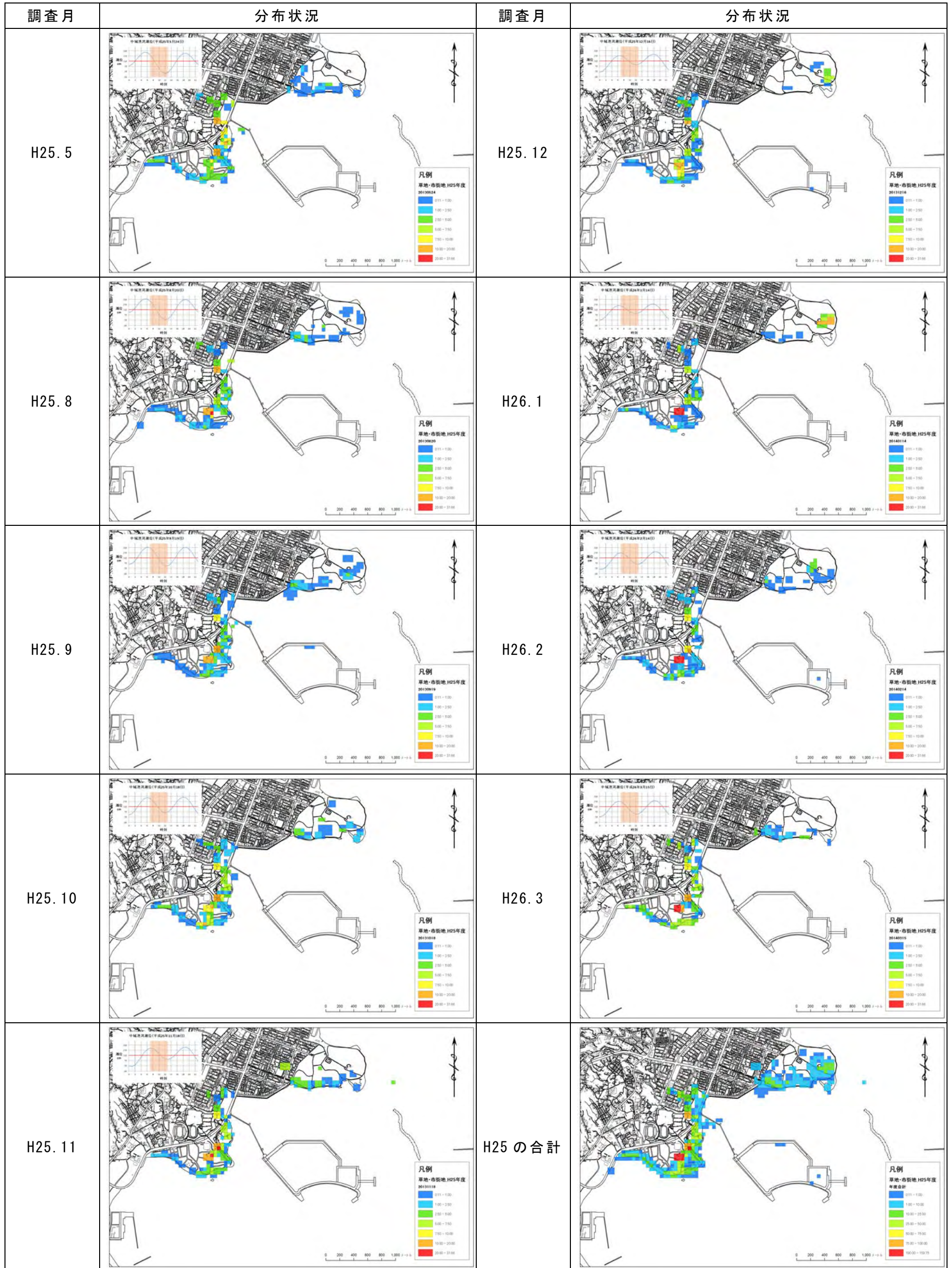


注) 本図における「草地等の鳥類」とは、ヒバリ科、セキレイ科などのうち、主に草地、市街地を利用する鳥類を集計したものを示す。



平成 25 年度調査における「草地等の鳥類」の分布状況

※凡例の数値は個体数を示す



注) 本図における「草地等の鳥類」とは、ヒバリ科、セキレイ科などのうち、主に草地、市街地を利用する鳥類を集計したものを示す。





計画地周辺における主な鳥類分布マップ

鳥類の写真: 中城湾港泡瀬地区 生物ハンドブック - 海辺のいきものたち -  
 (編集・発行者 沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所中城湾港出張所)



### 3. 社会的状況

#### 3.1 人口・産業

- ・ 平成 22 年における沖縄市の人口は約 13 万人、5 万世帯であり、人口も世帯数も増加傾向にある。
- ・ 沖縄市では第 3 次産業に従事している割合が高い。

人口及び世帯数の推移

市町村名	区分	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
沖縄県	人口(人)	1,228,327	1,268,732	1,321,024	1,366,854	1,393,543
	世帯数(世帯)	372,231	407,322	452,190	498,411	535,180
沖縄市	人口(人)	106,776	113,208	122,860	127,002	130,667
	世帯数(世帯)	32,115	35,760	41,755	44,991	49,280

資料)「沖縄県統計年鑑」(沖縄県企画部統計課)

産業別就業者数(平成 17 年)

市町村名	区分	総数	第 1 次	第 2 次	第 3 次	公務	その他
沖縄県	就業者数(人)	560,477	32,873	91,358	394,737	33,001	8,508
	構成比(%)	100.0	5.9	16.3	70.4	5.9	1.5
沖縄市	就業者数(人)	48,598	730	8,589	36,086	2,135	1,058
	構成比(%)	100.0	1.5	17.7	74.3	4.4	2.2

資料)「第 52 回 沖縄県統計年鑑 平成 21 年版」(平成 21 年 11 月、沖縄県企画部統計課)

### 3.2 土地利用

- ・ 沖縄市は、畑及び宅地の占める面積が大きく、米軍施設が存在する。

地目別土地面積(平成20年)

	総数	田	畑	宅地	山林	原野	その他
沖縄県	106,936	1,625	47,170	13,377	8,104	20,657	16,003
	100.0	1.5	44.1	12.5	7.6	19.3	15.0
沖縄市	3,176	0	419	1,170	0	213	1,374
	100.0	0.0	13.2	36.8	0.0	6.7	43.3

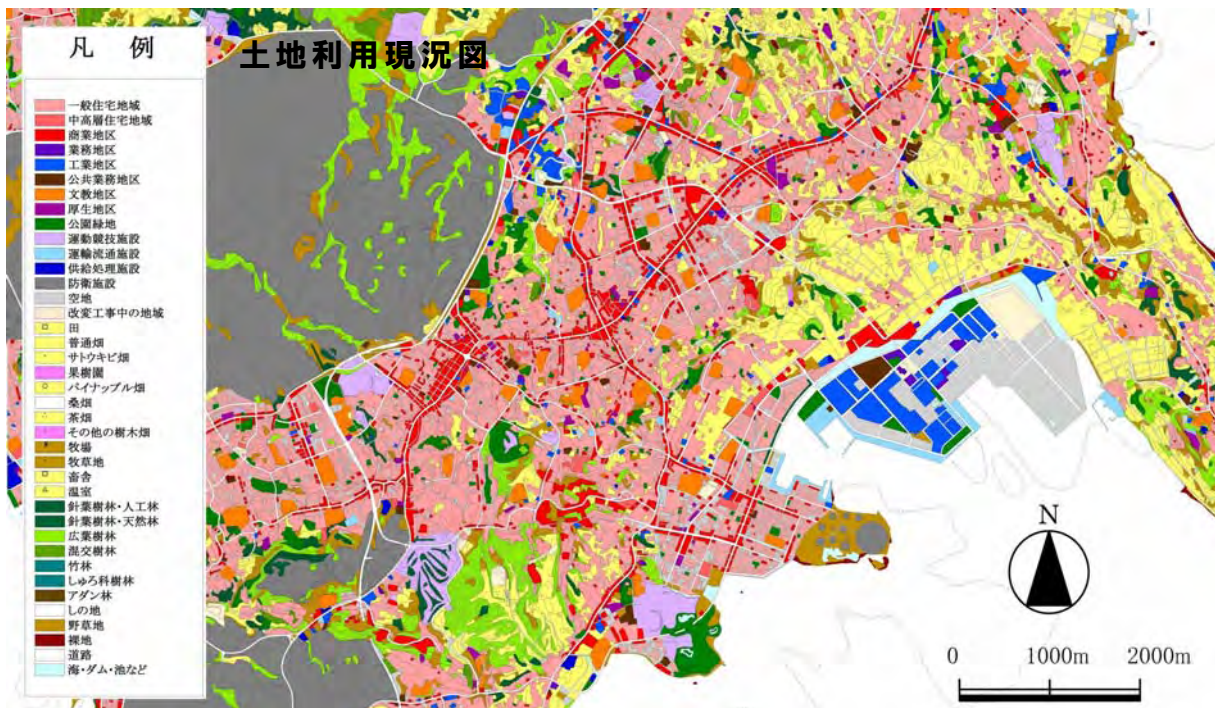
注) 上段は面積(ha)、下段は総数に占める割合(%)を表す。

資料)「第52回 沖縄県統計年鑑 平成21年版」(平成21年11月、沖縄県企画部統計課)

米軍施設面積(平成20年)

	地区面積 (ha)	施設面積 (ha)	各地区面積に 占める割合 (%)	県内の施設面積に 占める割合 (%)
沖縄県	227,571	23,293.3	10.2	100.0
沖縄市	4,900	1,689.1	34.5	7.1

資料)「第52回 沖縄県統計年鑑 平成21年版」(平成21年11月、沖縄県企画部統計課)

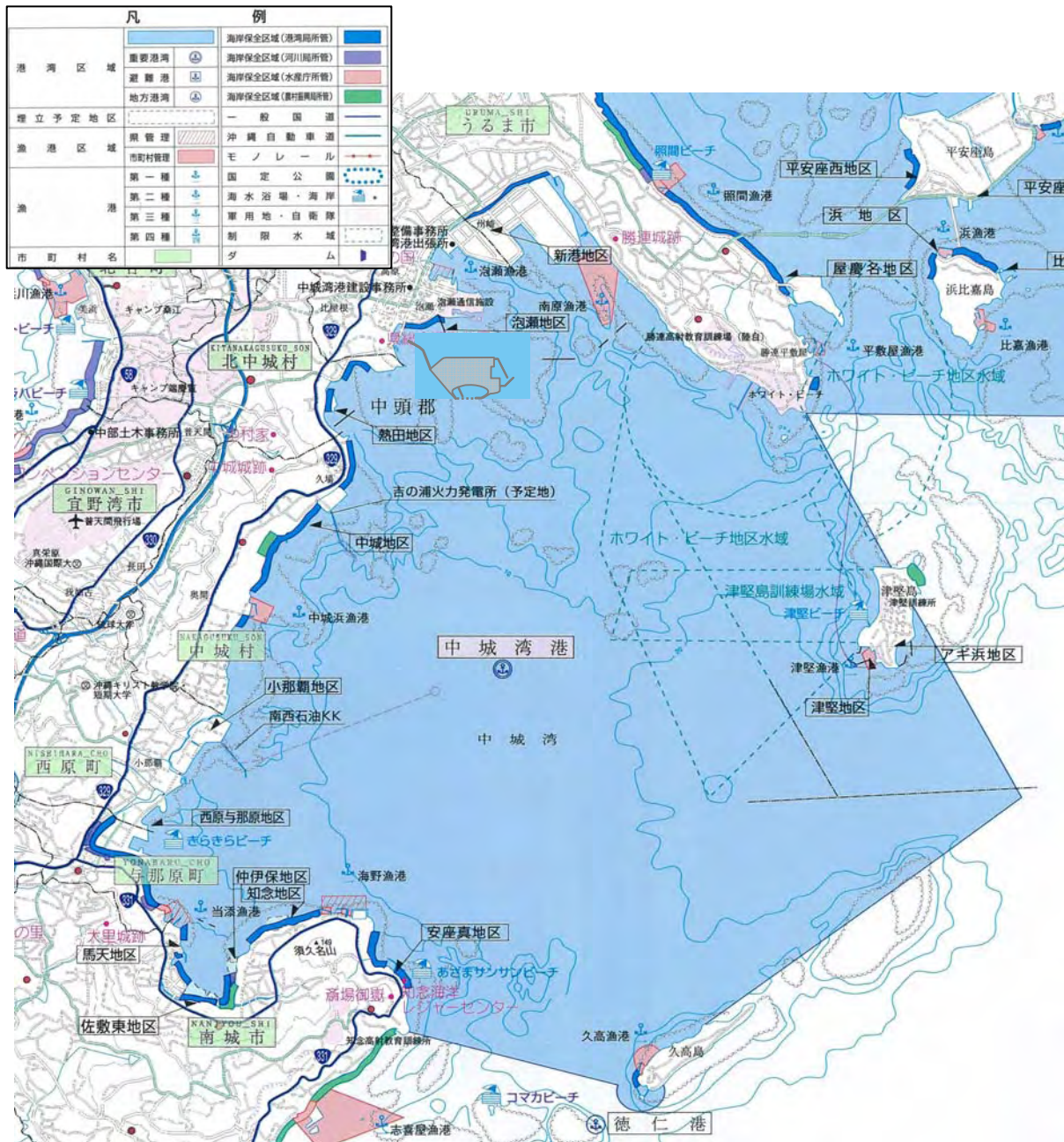


資料)「沖縄県土地利用現況図」(平成21年版、沖縄県企画部土地対策課ホームページ)

### 3.3 水域利用

#### (港湾区域・米軍制限水域)

- ・ 中城湾港は、沖縄島中南部の東海岸に位置し、勝連半島～津堅島～久高島～知念半島を結ぶ海域と、北からうるま市、沖縄市、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南城市の3市2町2村にわたる陸域に囲まれ、約45kmの海岸線と2.4万haの海域を有する港湾区域である。
- ・ また、中城湾港には、うるま市及び沖縄市に位置する米軍施設に隣接した制限水域が存在し、米軍訓練のための使用制限が行われている。

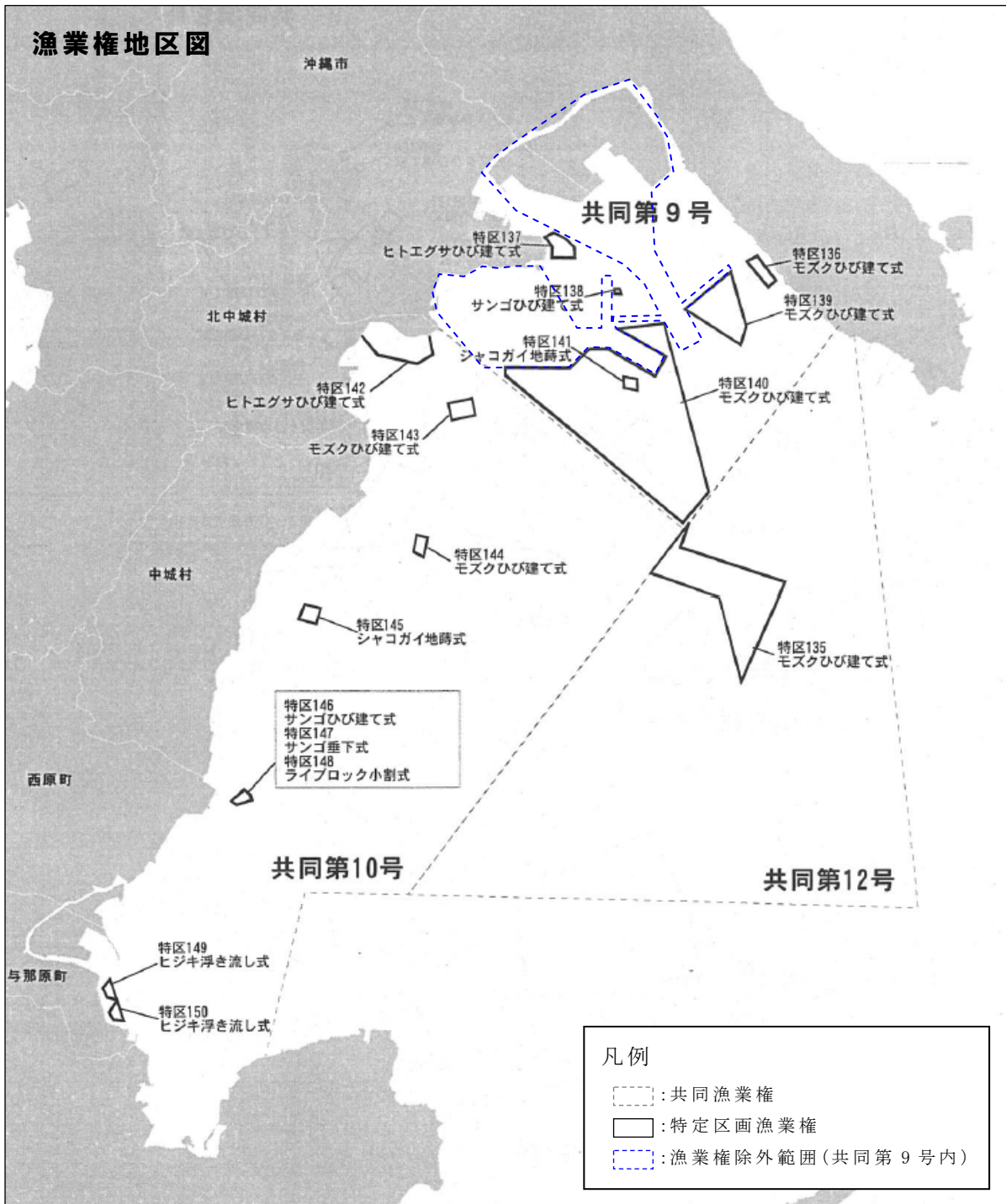


資料)「港湾概要」(平成21年3月、内閣府沖縄総合事務局開発建設部)に一部加筆



(漁業権区域)

- ・ 泡瀬地区周辺海域には、共同漁業権(第9号、第10号、第12号)、ヒトエグサひび建て式、サンゴひび建て式、もずくひび建て式、シャコガイ地蒔式などの特定区画漁業権が設定されている。



資料) 漁業権の免許内容等(特定区画漁業権・定置漁業権)(平成25年9月、沖縄県農林水産部)に一部加筆

### 3.4 人と自然との触れ合い活動の場

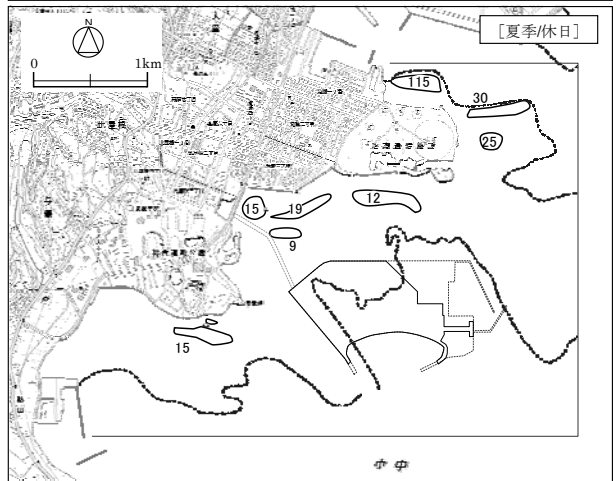
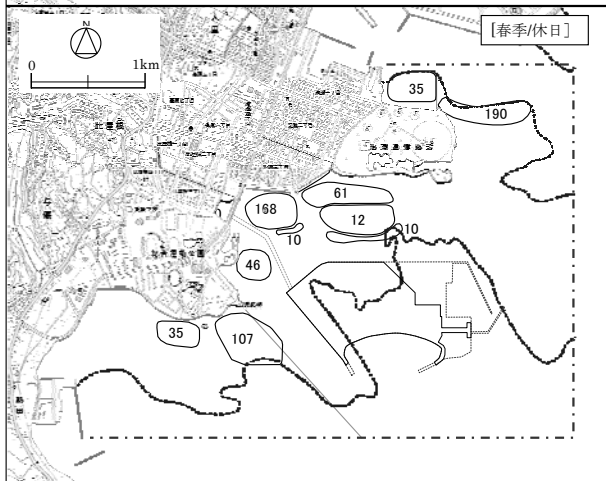
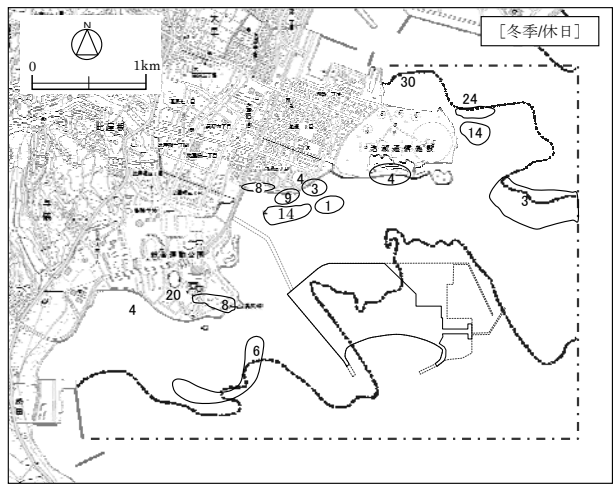
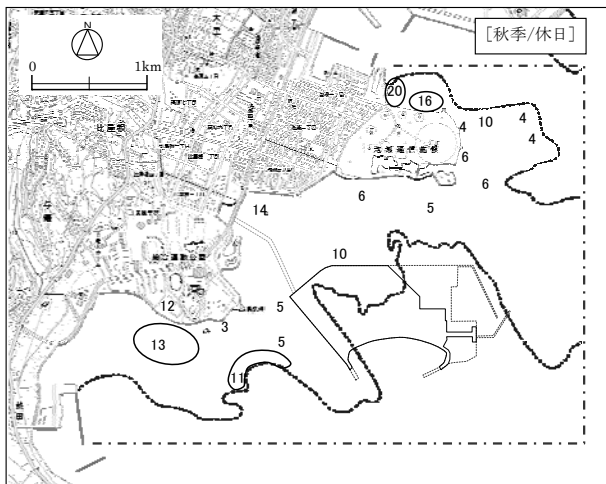
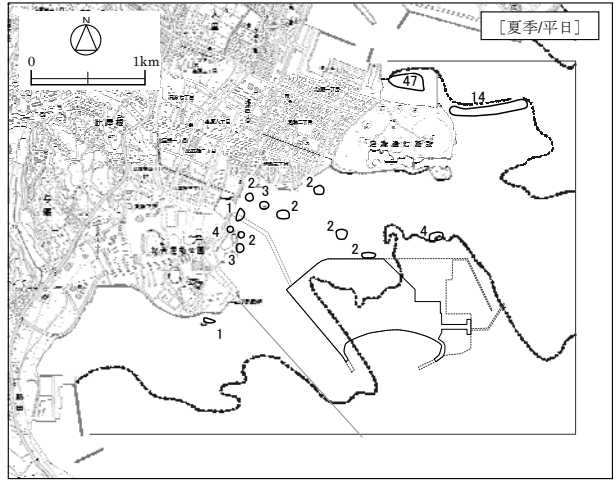
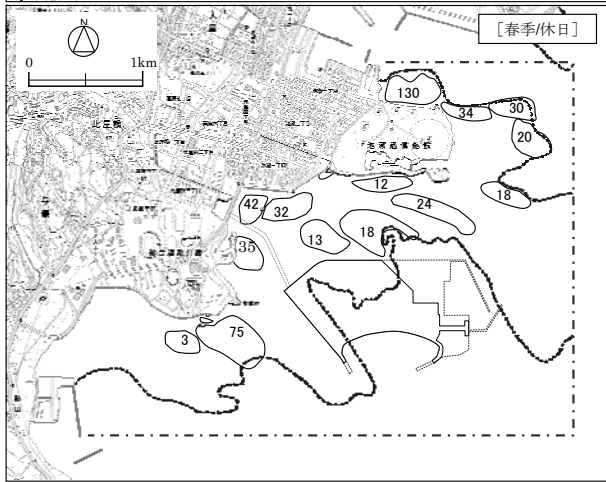
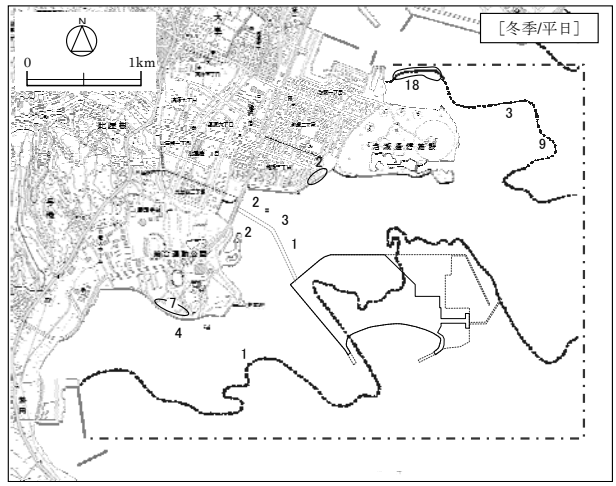
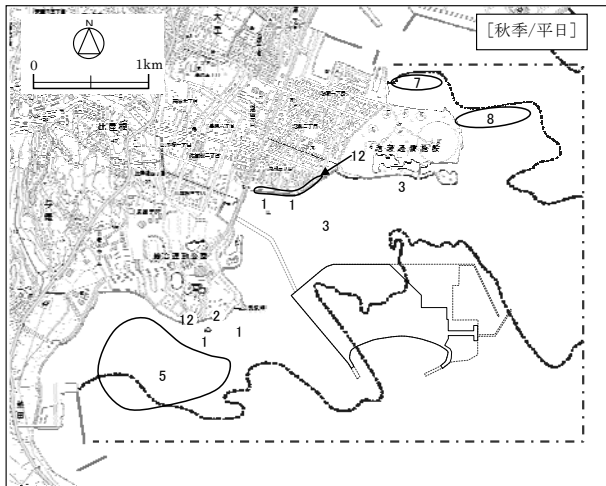
#### (干潟域の利用状況)

- ・ 利用人数は、季節や平日・休日ではばらつきがみられるものの、春季の休日が最も多く、干潟全域で約 700 人確認された。
- ・ 主な利用形態は、潮干狩りが最も多く、次いで、釣り、散歩等である。

季節	区分	調査期日	干潮時間(潮位)	利用人数(大人/子供)
秋季	平日	平成 21 年 11 月 18 日(水)	13:11(84cm)	56 ( 55 / 1)
	休日	平成 21 年 11 月 1 日(日)	11:28(65cm)	154 (116 / 38)
冬季	平日	平成 22 年 2 月 17 日(水)	14:03(31cm)	51 ( 41 / 10)
	休日	平成 22 年 2 月 14 日(日)	13:05(49cm)	152 (116 / 36)
春季	平日	平成 22 年 4 月 16 日(金)	13:46( 1cm)	537 (459 / 78)
	休日	平成 22 年 4 月 18 日(日)	15:03( 6cm)	710 (540 / 170)
夏季	平日	平成 22 年 7 月 26 日(月)	13:37(32cm)	89 ( 63 / 26)
	休日	平成 22 年 7 月 25 日(日)	13:06(34cm)	252 (154 / 98)







※図中の数値は干潮時の利用人数を示す